

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	エジソンSTEMラボ			
○保護者評価実施期間	2025年3月10日 ～ 2025年4月4日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	58	(回答者数)	29
○従業者評価実施期間	2025年2月27日 ～ 2025年3月16日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年4月18日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境、体制整備	まだ新しい施設ということもあり清潔感があり、十分な活動スペースがある。PCや3Dプリンタなどの電子機器が多いので、配線や活動スペースとの配置に配慮し、安全に過ごせるように工夫している。また、ゲームのコントローラー、キーボード、マウス等は活動の終わりに拭き掃除をしている。	低学年の児童の利用増加に伴い子ども用の一回りサイズが小さいキーボードを購入したり、土曜日など長時間の利用時はPC、iPad等以外でも遊べるようにパズルやカードゲーム等のおもちゃを用意しています。
2	保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮	連絡帳として使用しているアプリではメッセージのやり取りも可能。仕事をされている保護者の方も連絡がしやすくなっている。また、連絡帳に写真を添付できるのでより児童の様子が伝わりやすい。	アプリで便利にやりとりができるが、反面、直接対話する機会は減ってしまう。保護者の方と信頼関係を築いていく為にも、送迎時等の限られた機会でも申し送りや対話を大事にしていく。
3	活動プログラムが固定されないための工夫	年度毎のプログラム内容、時間割の見直しや、シラバスを作成し計画的に、きちんとねらいを持って活動内容を決定している。また、外部講師を招いてすすめる活動もあり、専門的な学習の場になっている。	eスポーツの大会に出場する、今流行っている動画を作る、新しいソフトを使う等、新しい目標を設定したり取り入れたりすることで、飽きずに前向きに取り組めるようにしている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時等の対応の周知	避難訓練の実施状況や災害時の避難場所等を周知できていない。	避難場所は文書を毎年配布し、訓練等の活動はHPやSNSにも投稿する。
2	外部の施設、地域の子どもとの交流	外部のイベントに参加することはもちろん、そもそも教室外で活動することが非常に少ない。	時間に余裕がある長期休暇中や土曜イベントで、地域の催しに参加する等を検討する。また、ゆくゆくは自事業所主催のイベントも開催できるようにしたい。
3	保護者会等の開催	事業所と自宅が遠い方が多い為、参加人数が見込めるか不安。	保護者会でなくても、授業参観のような形で子どもらの様子を見ていただく機会を作りたい。その中で、保護者同士、スタッフとの関わりも深められれば良いと思う。